

中央大学学員会 中大技術士会支部

ニュースレターvol.40

会員の皆様へ

今年の夏は酷暑と豪雨さらに地震で明け暮れました。異常気象がこれだけ続くとやはりこれが普通と考えなければならぬとも思われます。まさに地球温暖化対策は待ったなしの状況です。

「最低でも県外」とできもしないことを臆面もなく言い放った「宇宙人」と揶揄される方が党首（この方が理科系出身なのはなんとも皮肉ではありますが）だった政党のマニフェストに「コンクリートから人へ」との言葉がありましたが、まさにコンクリートが人を守ることを再認識しなければなりません。しかし残念ながら予算の関係で確率年数（何10年に1度起こるか）が十分に取れなかったためだと思いますが、地域住民の方々が安全だと考えられていた最近建設した砂防ダムが決壊したケースもありました。技術者としては痛恨の極みであります。

巻頭言にもありますように、地域住民の皆様の生命と財産を守るために「国土の強靱化」目指してわれわれ技術者の力量がますます問われてきているのではないのでしょうか。

本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ (<http://www.chuo-u-pej.org/>) から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「災害に対して技術士は無力か」：中大技術士会 幹事長 林 知幸	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 幹事会報告	3 ページ
■ 部会報告	5 ページ
■ CO2環境対策技術研究会活動報告	5 ページ
■ 平成30年度技術士第一次試験模擬試験実施報告	6 ページ
活動計画	7 ページ
■ 各部会の活動計画	7 ページ
■ CO2環境対策技術研究会活動計画	7 ページ
リレーエッセイ	8 ページ
■ 「私の趣味についてー資格取得ノススメ」：中大技術士会 幹事 山下さん	8 ページ
技術士第一次試験合格者から	
■ 技術士第一次試験合格体験記：植野雄貴さん（理工学部都市環境学科）	10 ページ
お知らせ	
■ 理工ホームカミングデーを11月3日（土・祝）に後樂園キャンパスにて開催！	11 ページ

■ 「災害に対して「技術士」は無力か」：中大技術士会幹事長 林 知幸（上下水道部門）

今年の夏は全国的に猛暑が続き、熱中症で多くの方の命が失われている。「命を脅かす暑さ」、「今まで経験したことがない暑さ」という報道や記事がびっぴりになっている。



加えて、2018年7月に発生した、広島県、愛媛県などに大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」によって、避難所生活を送っている方に追い打ちをかけている。

この豪雨で浄水施設の被害が報道されている。

- ・ 愛媛県宇和島市吉田浄水場
- ・ 岡山県倉敷市真備浄水場
- ・ 広島県三原市本郷浄水場

など各県の浄水施設が土砂、流木などにより各施設がその機能を失い、市民への水道供給ができなくなる事態が発生した。一部の浄水場では、機能復旧の目処が立たず、新規設備の新設を検討しているところもある。

このような「猛暑」「豪雨」に遭遇しながら、技術士が「蚊帳の外」に置かれていると思わざるを得ない。我が国は、災害列島であることはだれも否定しないであろう。遡れば、「大阪北部地震」「北九州北部豪雨」「熊本地震」など枚挙に遑がない。

台風21号が関西地方を通過し、関西空港が大被害を受け、再開に多くの時間を要するといわれている。さらに、この原稿をまとめている最中、北海道で大地震が報道されている。北海道に親戚、知人が多くいるためその安否が心配である。

とにかく、日本はどこにいても「災害に」遭遇する国である。

さて、その災害大国にあって、我々技術士は全くの「無力」なのか。重機を使ったがれきの撤去・復旧作業には従事することは困難かと思われる。

これだけの災害を毎年、毎年受ける日本にとって「技術士」が無力であってはならないと思っている。

災害が起きてからの対応ではなく、それが起こる前の対策に関与できないかということである。例えば、関西空港であるが、成田空港が「ハブ空港」になれないので、大阪湾に建設したものであるが、地盤の関係で、年間数cmから数十cmの地盤沈下が起きているそうである。数メートルの防潮壁を建設したいが航空機の離着陸に障害があるという理由でそれもできないそうである。浄水場に大量の流木によって、浄水機能が麻痺したことも同じである。

このような公共施設の建設に対し、その基本計画の段階から「技術士」の各部門から構成する検討会に参加できる機会を、国をはじめ、地方公共団体の関係者が設けてもらうことを提案するものである。

要請があった技術士は、その専門を活かす各種意見を述べ、災害に遭っても被害を小さくできる施設建設に力を発揮できる「技術社会」に協力していきたいと思っている。

■ 幹事会報告

本会では、概ね月に一度幹事会を行い、各行事の計画や方針などについて話し合っています。通常、中央大学駿河台記念会館の会議室で行っています。役員、幹事以外の会員の皆様にも参加していただけますので、是非一度参加していただき、ご意見などお聞かせください。

行事名	開催日程	活動概要
平成 30 年度 第 3 回幹事会	7 月 9 日 (月) 18 : 30 ~ 20 : 00	<ul style="list-style-type: none"> • 総務部会 <ol style="list-style-type: none"> ① 技術士オリエンテーション、ガイダンスがすべて終了した。 ② 9 月 15 日(土)、模擬試験を行う。理工事務室からの意見で昨年より 1 週間早めた。 ③ 学会から支部活動援助金、講演会援助金が入金された。 ④ 企画部会から学員時報へ総会報告原稿を投稿する。 • 企画部会 <ol style="list-style-type: none"> ① 6 月 9 日、定時総会、講演会、交流会が行われた。 ② ホームカミングデーが 10 月 7 日、開催される。名刺広告を掲載する。(1 万円) ③ 理工白門祭が 11 月 2 日~4 日行われる。理工学部のホームカミングデーも計画されている。 • 広報部会 <ol style="list-style-type: none"> ① ニュースレター Vol.38 に CO2 環境対策技術研究会案内、中大技術士会総会、法曹会との交流会を掲載する。 ② ニュースレター Vol.40 は 9 月 20 日発行予定。 • 大学支援部会 <ol style="list-style-type: none"> ① 科学技術と倫理の講義を岩瀬幹事、山下幹事で終了。 ② 技術者倫理について担当の佐藤教授と打合せを行った ③ 伊藤講師のスケジュール変更を了解した。 ④ 講師の全体会議を 9 月中旬までに行う。 ⑤ 「就職の手引き」原稿をキャリア支援課に送付した。 • CO2 環境対策技術研究会 <ol style="list-style-type: none"> ① 6 月 28 日研究会 (JAXA)、7/19 幹事会、7/28 報告会 (台風のため延期した)。 • その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 筏プロジェクトは、工業所有権に意見書を提出したので秋口に特許庁から何らかの動きがあると思われる。 ② 渋谷川復活プロジェクトは、オリンピック終了後に動きがあると思われる。 ③ テクノロジー懇談会は、電気の諸麥先生と調整をすすめているが、学生が熱心である。先生の研究が医療系であるので、篠崎幹事、理工ポート部と調整していく。 ④ ミミズロボットは、新型ができたのでテストの予定。 ⑤ 公認会計士会、法曹会との交流会について、今後関係者間で調整を行っていく。

行事名	開催日程	活動概要
平成 30 年度 第 4 回幹事会	8 月 27 日（月） 18：30～20：00	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部会 <ul style="list-style-type: none"> ① 模擬試験問題などの印刷を理工事務室に依頼した。 ② 模擬試験の各種担当者を決めた。 ③ 改修工事が終り、階段教室の利用が可能になった。 ・企画部会 <ul style="list-style-type: none"> ① 理工白門祭の出展者説明会に参加した。 ② 会場は例年通り 6 号館 1 階ロビーになった。 ③ 理工白門祭は常時 3 名の常駐が必要なので、多くの参加を要請された。 ・広報部会 <ul style="list-style-type: none"> ① ニュースレター Vol.40～44 の予定が提示された。 ② 山下幹事が編集委員に加わり広報部会が充実した。 ③ ニュースレター Vol.40 の内容を確認した。 ・大学支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ① 技術者倫理の事前全体会議を 9/12 行った。 ② 伊藤幹事がリハビリ中にもかかわらず、元気な姿をみせた。 ③ 大技連（大学技術士会連絡協議会）の総会について紹介があった。（総会は 11 月 10 日） ④ 筏プロジェクトに動きはなかった。（その他の項参照） ・CO2 環境対策技術研究会 <ul style="list-style-type: none"> ① 6 月 28 日研究会を JAXA で行った、 ② 7/28 予定した報告会は、台風接近のため 10/6 に延期した。 ③ 第 38 回研究会を 11/16 葛西水再生センターで行う。 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ① 筏プロジェクトは、工業所有権に意見書を提出したので特許庁から何らかの動きがあると思われる。 ② 渋谷川復活プロジェクトは、オリンピック終了後に動きがあると思われる。 ③ テクノロジー懇談会は、電気の諸麥先生と調整をすすめている。 ④ ミミズロボットは、大きな動きはなかった。 ⑤ 公認会計士会との交流は、組織内の調整に時間がかかるとの連絡が入っている。

■ 部会報告

○大学支援部会

項目	内容
「科学技術と倫理」講義	新たな報告はありません
「技術者倫理」	9月12日2301号室に於いて全体会議を行い、本年度講義の確認を行った。2019年度の「キャリアデザインと倫理」に中大技術士会から7名を「技術者倫理」に13名を派遣するよう要請が、佐藤教授からあった。

○広報部会

項目	内容
サーバー運営	① メールリストおよびWeb名簿のメンテナンス実施 ② ドメイン更新の事前連絡あり。10月中頃、更新処理する予定。
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.39作成、発行
HP新規掲載	① ニュースレターvol.39の掲載 ② 行事案内に今後の予定として、技術士第一次試験模擬試験、ホームカミングデー（多摩、後樂園）、理工白門祭の日程を掲載
その他	① 新規入会者2名（技術士）をメールリストに登録 ② 理工学部長の呼びかけで9月3日（土）に10学科同窓会連絡会（仮称）があり、理工ホームカミングデー、理工学部創立70周年記念行事について説明があった。
会員の皆様へのお願い	① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org ② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談、2020年東京五輪への期待、何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。 ③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「趣味」を共通テーマとしたリレーエッセイを本号（Vol.36）より開始しました。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。リレーエッセイの執筆をご希望の方はtoiawase@chuo-u-pej.orgまで、お知らせください。意外な繋がりが生まれるかも知れません。

■ CO2 環境対策研究会

項目	内容	
H29 第6回幹事会 出席 6名	H30年7月19日（木） 18:30～20:00 中大後樂園校舎5310号室	第32回研究会(2018.6.28)の報告 第33回研究会の企画 平成29年度活動報告、会計報告の承認 平成30年度活動計画、予算の承認

■ 平成 30 年度技術士第一次試験模擬試験実施報告

1. 実施内容

9月15日(土) 5534 教室
13:00~17:00 模擬試験
17:00~17:30 まとめその他

2. 参加者

2018年：142人(申込者 220人)
2017年：144人(申込者 273人)
2016年：131人(申込者 242人)
2017年：88人(申込者 122人)
2017年：99人(申込者 147人)

3. 実施結果

3科目の合格点人数は、2017年と比較すると34名の減少となりました。

	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
適性科目：	131人	86人	109人	42人	58人
専門科目：	32人	67人	60人	38人	32人
基礎科目：	119人	94人	97人	60人	52人
3科目：	31人	65人	52人	24人	22人

4. 2018年の本番予想

2017年の本試験合格者は151人(模擬試験参加者144人の1.05倍)であったので、2018年の本試験合格者は142人の1.05倍として149人と予想されます。(12月13日(木)合格発表予定)
2015年~2017年の中央大学の成績は以下の通りです。

大学名	2018年予想		2017年実績		2016年実績		2015年
	申込者	合格者	申込者	合格者	申込者	合格者	合格者
中央大学	278	149	345	151	275	176	117

5. その他

2016年の合格率が64.0%で2017年の合格率が43.8%であった。上記149人の合格者数は2017年の合格率で予想しているが、2016年の合格率であれば178人の合格を期待できる。

活動計画

■ 各部会の活動計画

本会の活動計画をご案内します。奮ってご参加ください。

○大学支援部会

行事名	開催日程	活動概要
「科学技術と倫理」講義	未定	2019年度も要請があれば、ゲストスピーカーを派遣する予定です。
「技術者倫理」講義	2018年10月3日(水) ～2019年1月16日 (水)	2018年度(平成30年度)も5限5133号室で講義が行われる予定です。
「技術者倫理」	2019年度後期	2019年度が最後の講義となります。
「キャリアデザインと倫理」	2019年度前期	2019年度から7名を派遣する予定です。

○企画部会

行事名	開催日程	活動概要
ホームカミングデー	10月7日(日) 多摩キャンパス	「無料技術相談会」として出店する予定
理工白門祭	11月2日(金)～4日 (日) 後楽園キャンパス	「無料相談会」として出展する予定
中大技術士会 H30第2回講演会	未定	

■ CO2 環境対策技術研究会活動計画

行事名	開催日程	活動概要
H30第1回幹事会	H30年9月20日(木) 18:30～20:00 中大後楽園校舎 5310号室	第9回報告会(2018.10.6)の応募状況 第33回研究会(2018.11.16)の案内
H29第9回報告会	H30年10月6日(土) 14:00～17:00 中大後楽園校舎 3310号室	「私たちの暮らしと化学物質—PM2.5と健康—」 村上和雄会長 「CO2吸収材の最新の研究動向」 大石克嘉副会長 「CO2のはなし」内藤堅一幹事長
第33回研究会	H30年11月16日(金)	見学先：都下水葛西水再生センター 交流会：西葛西駅周辺
H30第2回幹事会	H30年11月22日(木) 18:30～20:00 中大後楽園校舎 5310号室	第9回報告会(2018.10.6)の報告 第33回研究会(2018.11.16)の報告

■ 「私の趣味についてー資格取得ノススメ」:中大技術士会幹事 山下 三雄さん
(建設部門・総合技術監理部門ーいずれも「都市及び地方計画」科目)

私は至って無趣味の方で、趣味といえるかどうか分かりませんが各種資格を取得することです。現在では全く使い物にならないものを含めて合計 30 種類を超えており、わが愛する？女房殿にも「資格オタク」といづらかあきれ返られています。私のモットーは「お金と資格は邪魔にはならない」です。土木屋なのでまずは 1 級土木施工管理技士から挑戦しました。測量士は大学で相当科目を履修すれば国土地理院に申請するだけで取得できたので、これが自動車運転免許に続く 2 番目の資格ではあります。その後広島で開発面積約 120ha・総事業費約 500 億円という大規模都市開発事業のプロジェクトマネジメントを経験し、土地区画整理事業の許認可に関する諸官公庁・設計コンサルタント会社・約 120 人の地権者との折衝を通じた「合意形成」業務の必要性から、都市開発・不動産への強い関心を持ちました。そこで次に宅地建物取引主任者（現在はその上級資格である「不動産コンサルティング・マスター」を取得）を手始めに、土地区画整理士・再開発プランナー・マンション建替えアドバイザーを取得しました。都市計画法の市街地再開発事業はその仕組みが土地区画整理事業の平面的な開発を立体的に変換したもので、基本的な仕組みは共通点が多いので再開発プランナーの知識習得に役立ちました。都市再開発法そのものが土地区画整理法を土台にしたものです。



また若干 30 歳の時にブラジルでウォーターフロントのリゾートプロジェクトのフィジビリティ・スタディにシビルエンジニアとして参画し、帰路社長の指示でニューヨーク州の売りに出されているスキーリゾートの調査を実施しました（バブル経済のはしり？）。ここで英語力の足りなさを痛感し、語学に挑戦することにしました。まずは英検 2 級を取得しその後 1 年に 1 か国語ずつ挑戦する目標を立てて、現在では仏検 3 級、独検 3 級、西検 4 級、中検 4 級、伊検 5 級を取得しております。平日は朝ラジオ・テレビで約 2 時間 NHK の各種の語学講座を聴取しています。もっともあいかわらず英語すら日常会話に不自由するレベルではあります。

次に興味を抱いたのは全く門外漢の経済・経営・法律・会計・金融のいわゆる文科系の分野です。理科系の間人が文科系の知識を習得するのは、その反対に比べればかなりハードルが低いです。たとえば文科系の出身者に微分方程式を理解しろと言ってもかなりむずかしいのではないのでしょうか？「ミクロ経済学」に至っては微分を知っていれば理解がずっと早まります。弁護士・公認会計士に並ぶ 3 大国家試験のひとつの、不動産鑑定士資格は 3 度の挑戦にも拘わらずことごとく失敗しましたが（3 度目の択一試験だけはかろうじて合格しました）、2 級ファイナンシャルプランニング技能士・ビジネス法務実務検定 2 級・経営学検定中級・日商簿記 3 級・プロジェクトマネジメント・スペシャリスト（PMS）の各資格を取得しました。会社の経営サイドの地位になるためには理科系だけではなく、これら一連の文科系の知識も必要なのではないでしょうか？

お隣中国では周近平主席も元はといえば大学で河川工学を習得した土木技術者です。意外と知られていないことですが、ひとつ前の時代の中国のトップのいわゆる「チャイナ 9」（現：チャイナ 7）のうちの胡錦濤主席をはじめ実に 8 人は理科系出身者が占めていました。すなわち中国の最近の目覚ましい躍進は理科系の者が支えていたといっても過言ではありません。最近のわが国の政府は「平気で虚偽答弁を言う」「文書を改竄する」「1 日が 25 時間以上のあるような全く理屈

に合わないデータを提示する」「3,4千台ものダンプカーが街を行き来するという全く現実的ではない言い訳を考える」「都合の悪い文書は廃棄するか、文書にしないで全く証拠能力のない、いい加減な個人の記憶に頼ることとする」等々、民主主義の根幹が揺らぎかねないような考えられないことが次々と露呈しています。これも明治維新以来の暗記力一辺倒の某国立大学法学部出身者の官僚による国家運営が完全に制度疲労を起こしており、今こそ理科系の出番ではないでしょうか？（我が誇りの中大法学部出身者は別ですが）

さらにその後ヘッドハンティングにあい、建設コンサルタントの役員として東京支店長を拝命しましたが、文科系の知識がいくらかは役にたったと考えております。現在では技術士の資格（の看板？）で建設コンサルタント会社に所属しほとんど仕事はせずに給料をいただいております。趣味が高じて結果的にはこの年になって実益をいただいております。

結構偉そうなことを言ってきましたが、語学の勉強のモチベーションはあまり立派なものではないことは、先日のニュースレター（Vol.36,37）に2回分に分けて掲載しましたエッセイをご参考ください。まあ、資格オタクの変人が何か言っているなどと思っていただければ幸いです。

次号のエッセイは我が中大技術士会若手期待のホープ、長谷川さんをお願いいたします。

（蛇足）

先日中大理工学部のご配慮により在学生約150人を対象に「科学技術と倫理」のゲストスピーカーとして「私の職務経歴を通して、技術者倫理について考える」をテーマで、私の拙い90分のレクチャーをさせていただきました。4つのケースを紹介し、それぞれ学生諸君に色紙（セーフ→青、？→黄、アウト→赤）を提示してもらい判断してもらいました。なかには反面教師の意味でかなり倫理的に怪しいケースもありました。そのときのレジュメの一部をご紹介します。ちょっとラジカルなことを約50年ぶりに母校の在学生諸君相手にアジって？参りました。

（1）アベ劇場第2幕終演のドタバタに学ぶ人としての倫理について

いうまでも技術者倫理以前の問題として、

- ・ルールを守り、嘘や根拠の不確かなことは言わない。
- ・文書やデータの改竄は絶対にしない（データのチェックによる単純ミスの訂正は必要）。
- ・重要事項は「記憶」に頼らず、「記録」に残す。
- ・記録はルールを決めて、それに従って勝手に廃棄しない。
- ・いわゆる上司に対する「忖度」は一切ご無用。（ある程度はサラリーマンとしては必要か？）
- ・「パワハラ」「セクハラ」は一切ご法度。（「胸を触っていい？」などトップ官僚としては言語道断！）

（2）ロートル（中国語のおじいさん「老頭儿[lao-tour]」が語源）から若い学生諸君に望むこと

- ・今後の国家運営はいよいよ皆様理科系出身者の出番である。（前述の通り）
- ・従って大学時代はあくまでも技術者能力を磨くのが本分であるが、「技術屋バカ」になるのではなく、法律・経済・経営・会計・金融等の文科系の基礎知識の習得も目指していただきたい。（真のジェネラル・マネージャーの育成）
- ・皆さんの活躍の舞台は世界である。英語・中国語等の語学力が必須の条件になる。（真のグローバル・マネージャーの育成）←特に今後は中国語がおすすめです。

技術士第一次試験合格者から

上野さんから合格体験談の投稿を頂きました。これから受験を予定されている方は、参考にしてください。

■ 技術士第一次試験合格体験記：植野雄貴さん（理工学部都市環境学科）

1. 勉強方法

技術士第一次試験の試験科目は「基礎科目」、「適性科目」、「専門科目」の3科目であり、各科目で50%以上正答すると合格となります。私は科目ごとに以下の勉強方法を取り入れました。

「基礎科目」：5分野あり、それぞれの分野6問から3問を選択して解答する形式です。そのため、得意な分野を3分野作り各々で2,3問正答できるような勉強を行いました。勉強方法は、過去問を2年分解き、得意な3分野のみ4年分解きました。

大問	内容	出題数
1	設計・計画に関するもの（設計理論、システム設計、品質管理等）	3
2	情報・論理に関するもの（アルゴリズム、情報ネットワーク等）	3
3	解析に関するもの（力学、電磁気学等）	3
4	材料・化学・バイオに関するもの（材料特性、バイオテクノロジー等）	3
5	環境・エネルギー・技術に関するもの（環境、エネルギー、技術史等）	3
	合計	15
	合格最低正答数	8

大問3つを完璧にすると、十分に合格できる

基礎科目の勉強方法

「適性科目」：技術士者倫理や製造物責任法、ハラスメントなど技術者の倫理を形成する上で最低限必要な知識・認識が問われます。

「技術者法第4章」、「製造物責任法」、「知的財産制度」、「リスクコミュニケーション」においては3年分ほど過去問を解き、知識をインプットする必要がありますが、他は良心に従い解答を行うことで正答できました。

「専門科目」：35問中25問を解答する形式です。過去問は5年分ほどを解き、頻出の知識問題の確認、計算問題の解法の勉強に努めました。

暗記系

技術者法第4章
製造物責任法
知的財産制度
リスクコミュニケーション

思考系

技術者倫理
職場倫理
不正行為

適性科目の勉強方法

2. 受験して良かったこと

就職活動を行った際に、ある会社の指定の履歴書には「技術士一次試験」の欄があり、「○」か「×」かのみしか書けないようになっていました。そのような項目が4つほどあり、「○」の割合を増やすことができたのは、就職活動が成功した要因の一つであるかもしれないと思いました。

3. 最後に

1日1時間半程度の勉強を2週間行うことで合格することができたので、トータルでは約21時間で合格することができました。約21時間の勉強で、履歴書に書ける資格を手に入れただけでなく、今までの復習や新しい知識のインプットをすることができ、受験勉強をした期間は大変有意義なものでした。

また、それだけではなく、技術者としての自覚や責任を再確認することができ、社会でその役割を十分に発揮したいという、モチベーションの向上にも至りました。

お知らせ

■ 理工ホームカミングデーを11月3日(土・祝)に後楽園キャンパスにて開催!

来る11月3日(土・祝)に本学後楽園キャンパスにて、理工ホームカミングデーを開催いたします。当日は学園祭である理工白門祭も開催されており、白門祭も併せてご参加いただけます。

理工ホームカミングデーでは、100円ショップでおなじみのダイソーの運営会社である株式会社大創産業の創業者である矢野博丈氏(昭和42年理工学部卒)に、「生きる—恵まれない幸せ—」と題し講演をいただきます。その他、来年理工学部創立70周年を理工学部の近況についてのご報告や理工学部親子2代表彰、本学学友会体育連盟応援部による演武、旧2号館をバーチャルリアリティ技術で再現した映像の上映なども行います。また、卒業生の集いの広場として各学科の同窓会を中心とした集いの場も設ける予定です。旧友との思わぬ出会いもあるかもしれません。

同日開催の理工白門祭(学園祭)では、学生団体の企画をはじめ、研究室公開や模擬店など様々な催しが行われます。研究室の見学を通し現在の最先端の研究状況や学生たちの活動などをぜひご覧いただき、ホームカミングデーと併せお楽しみください。

今後の詳細は、理工学部のホームページにてお知らせいたします。

〈親子2代表彰について〉

理工ホームカミングデー当日に理工学部を親子2代(直系)でご卒業されたご家族を表彰させていただきます。詳細につきましては、理工学部事務室へご連絡ください。

連絡先：理工学部事務室(TEL：03-3817-1715)

受付期間：～10月19日(月～金 10:00～17:00)

【理工ホームカミングデー プログラム(予定)】

開催日：2018年11月3日(土・祝) 13:30 開会

プログラム：

1. 開会・理工学部の近況について 樫山和男理工学部長(昭和57年理工学部卒)

2. 講演会「生きる—恵まれない幸せ—」

講演者 矢野博丈氏(昭和42年理工学部卒)

株式会社大創産業(100円ショップ ダイソー)の創業者

3. 親子2代理工学部卒表彰

4. 本学応援部による演武ほか

※総会では恒例になった勝山達志様のナレーションと「惜別の歌」の斉唱も行う予定です。

お問い合わせ先：理工学部事務室(TEL：03-3817-1715)

【参考：理工白門祭(学園祭)】

開催日：2018年11月2日(金)～4日(日) 10:00～17:00(最終日は16:00まで)



ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 ⇒ toiawase@chuo-u-pej.org

2018年10月号 中大技術士会 広報部会 発行